

# りんごだより

草笛学園 2023年 9月号



まだまだ暑い日が続きますが、吹く風に少しずつ夏の終わりも感じます。暑さが厳しくて、外あそびも心配な日々ですが、水遊びや虫探しなど、季節を感じられる遊びもたっぷりしていきたいですね。

## くせについて

悩みや葛藤が強くなる3歳代は、甘えたいけど「もうお兄ちゃんだから」と自分を励まそうとしているときや、「友だちの中に入りたくないけど、どうしよう」「本当はやりたくないけど、ちょっとこわいな」と心をゆらしているときに、指すいなどのくせがよく見られます。3歳代は人生の中で一番くせの多い時期といわれます。指すいや性器いじり、耳たぶいじりなど、いつも身体のどこかを触っていたりします。こうした指すいに対し、「お兄ちゃんだから恥ずかしいよ、やめなさい」と頭ごなしに言うだけでなく、今、心の中でどんな葛藤が起きているのかをちょっと考えてあげましょう。もしかしたら、「もっとがんばりたい」「やってみたいけど・・・ちょっとこわいな、でもやっぱりやりたいな」と心を前向きに揺らしている姿かもしれません。こんなときは、少し見守ってあげたいもの。指すいのことだけを注意されると、前向きの心もいっしょにしぼんでしまうこともあります。

子どもたちにとっては、「やりたいけど、どうしよう」と心を揺らしつつも「でもやっぱりやりたい」と前向きに葛藤をつくり立ち向かっていくことが大切です。そのために、おとなの支えを必要とします。この、おとなを求める心と自立しようとする心との葛藤が、時には反抗という形で表現されることもあります。反抗するかと思うと、ベタベタ甘えてくるのも、新しい自分に挑戦しようとする心のあらわれです。

しかし、自分に対して「できなさ」ばかりを感じて、「やっぱりあかん」「やっぱりできない」とあきらめてしまうことばかりが続くと「でもやっぱり、やりたい」と前向きに葛藤する心は生まれにくくなります。前向きに心を揺らすためには、自分への信頼、自分への肯定的なイメージが必要です。このおとなの支えと自分への信頼に基づいて、悩みを乗り越えていくことにより、更に自分への信頼が高まります。それは

また、「今度はこれをしたい」「今度はあんなふうにやってみたい」と次の願いを自分でつくりだしていくことになるでしょう。

参考文献：『3歳児』秋葉英則・白石恵理子監修



動きやすい服装で  
来てくださいね！

次回のりんご教室は・・・

①・全→10月3日(火)さんぽ

持ってくるもの：水筒・(帽子)

②・全→10月17日(火)さんぽ

持ってくるもの：水筒・(帽子)



『参加される皆様へ』～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費はありません。制作や、クッキングの活動の時には材料費として+100円いただきます。その都度連絡いたします
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えてください)
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください

【感染症対策について】(※国の方針に準じて対策を見直しています)

- ・参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々感染状況をみて着用をお願いする場合があります
- ・原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください
- ・入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- ・園内の換気や消毒は引き続き続けます